

「身勝手な古い政治を終わらせ、新しい時代の政治を創る」

伊藤まさしが提案する4大改革

1 裏金作りをさせない。政治資金パーティー等は禁止。

新
改
革

議員特権の可視化、議員定数の大幅な削減

企業献金などの廃止、旧文通費の領収書即公開とともに、あわせて議員定数の大幅な削減・世襲制限を断行します。

国会の常識を民間の常識に変える。

2 社会保障の抜本改革と予防医療推進。

新
改
革

制度改革とともに予防医療を重点的に推進

予防医療の推進で元気な高齢者を増やします。家族の介護負担も減り、お金・時間・心身の3つの負担が一気に軽減されます。

伊藤まさしは予防医療の専門家

3 大型減税から始めて、経済成長を図る。

新
改
革

成長のための減税と規制改革

消費税・所得税・法人税の「フロー大減税」を断行し、個人消費と企業投資を促進して経済成長を加速させます。

50年上昇し続けている国民負担率をここで止める。

4 教育無償化で次世代を育てる。

新
改
革

所得制限のない完全無償化を実現

幼児から大学まで、教育の全無償化及びそれを通じた教育の質の向上と教育機関の創出を目指します。

少子化社会を乗り越えるべく次世代の人材をしっかりと育てる。

ここ三重3区から、古い政治を終わらせましょう。

民間人代表 伊藤昌志

「守る」公約が守られるわけがありません。選挙では、どこも聞こえの良い美辞麗句を並び立てますが、結局、自民党はもちろん、立憲民主党も増税路線です。

日本維新の会は、公約に消費税・所得税・法人税の大型フロー減税を掲げました。みなさん、ここで与党の過半数割れを達成して、まずは減税から始めましょう。

日本維新の会に、そして伊藤まさしにあなたの一票を託してください。これから身を切る改革で、議員所得を減らし、国民所得を増やしていきます。

自民党の裏金問題、民間であれば明らかな犯罪です。立憲民主党は、法律改正しない限り政治資金パーティーを開催しようとしています。永田町の常識は、民間の常識です。私は個人事業主として学習塾を経営してきた民間感覚と、ZPOやボランティアなどの地域活動経験を生かし、政治に不信感を抱き続けてきた国民の皆様に伝えるべく、国民の常識をもって永田町に乗り込みます。また、国会審議に全力を尽くすとともに、地域課題において、活動の見える国会議員として働くことを誓います。30年上がらない国民所得、50年上がり続ける税金や社会保険料といった国民負担率。さらに物価高も続く今、なぜ与党は増税し続けるのでしょうか。このまま与党が過半数を割らない限り、国の借金などを理由に、増税が続くことは間違いありません。

そもそも自国通貨に近い「円」を持つ日本は、「国の借金イコール国民の借金」ではありません。よって、国の借金を理由に増税というロジックは成り立たないのです。また、なぜ貸借対照表などで物事を考えないのでしょうか。今、国の令和4年経常収支は10兆円を超える黒字、さらに令和5年は25兆3,390億円という過去最高の黒字となっています。それなのになぜ増税の必要があるのでしょうか。まずは減税の一択！そこから始めて、日本経済を復活させていくべきです。

今回の解散時期のように、総理になる前と後で真逆の発言をする石破内閣に、「守る」公約が守られるわけがありません。選挙では、どこも聞こえの良い美辞麗句を並び立てますが、結局、自民党はもちろん、立憲民主党も増税路線です。

維新で一新！ まずは減税！



平日は早朝より挨拶活動しています。活動の様子はFacebookで配信

経歴

1970年 1月17日生まれ(54歳)
1985年 四日市市立羽津中学校卒業
1988年 四日市高等学校卒業
1992年 順天堂大学体育学部健康学科卒業

2024年 三重大学大学院人文社会科学部 科学研究科 修士課程修了

元実業団陸上競技選手(八千代工業)
元いなべ市社協勤務(いなべ市出向)

元全日本大学駅伝出場チームヘッドコーチ(四日市大学)
美し国駅伝四日市市初優勝時監督
桑名市「桑名いきいき体操」監修
川越町健康講座10年間開催
ほか、各種講演・講師多数

元四日市市議会議員
学習塾経営28年
(特)四日市ウェルネスクラブ顧問



伊藤まさし